

放課後みつけクラブ秋の里山遊び企画報告書

office ごえん
代表 中野美貴

【日時】 10月3日(土)10:00~15:30

【場所】 学習文化センター内研修室、クラインガルテンの森(栄原)

【協力】 一般社団法人 100年の森づくり長万部

【内容】 里山遊び(木育活動)

【参加者】 13名(ボランティア 1名)地域おこし協力隊1名

【成果と課題】

森へ入る前にセーフティトークを含め、『森のマナー』を全員で確認した。前の週に近くの牧場に熊が出たとの情報もあったので、なぜ熊は人里におりるのか、正しく怖がること、熊とのソーシャルディスタンス、など子どもたちと確認することができた。また、森での危険な場所や植物についても確認し、実際に森に入った時もその場所を一緒に確認することができた。

ふだん外で思いっきり遊ぶことがないので、大きな榎の木の公園で目一杯遊ぶことができた。最初はちょっと怖いと言っていたが、友だちと一緒に遊ぶうちに、帰る時間になってもずっと遊んでいた。また、大人のスタッフがいたので、午後の自由時間では二手に分かれて遊ぶことができたので良かった。心配していた雷もなく、午前中少し雨がばらついたくらいで最後まで遊ぶことができた。また、一般社団法人 100年の森づくり長万部の方から差し入れのピザをいただいたり、交流もできたので、とても良い経験ができたと感じた。立派なピザ窯もあったので、今後まちの特産物でピザづくり体験もできたら面白いかなと感じた。

○森に入る前と後の「木」の絵について

森へ入る前と後にそれぞれ木のイラストを描いてもらった。木と触れ合う前のイラストは平面だったり、簡単な木のイラストが多くあったが、木と触れ合ってから、遊んだ木を描いたり(ブランコやタイヤ付きの)、奥行きや木が立体的になったりと変化が見られ、木をより身近に感じることができた。



○子どもたちの声

- ・木がこんなにあるところに初めてきて、長万部って分からないくらいびっくりした。みんなで食べたお弁当が美味しかった。
- ・コロナを忘れて楽しめたし、すごく笑った！
- ・木登りするのは初めてでドキドキしたけど楽しかった。
- ・トカゲ(ヤモリ)とか蟬の抜け殻見つけておもしろかった。
- ・長万部にこんな場所あるんだなって思った。
- ・とにかく楽しかった！
- ・栗のとげってこんなに痛いんだなって思った。
- ・友達と一緒にこれで楽しかったし、ピザ美味しかった。
- ・タヌキに会えなかったけど、楽しかった。
- ・熊に会わなくてほっとした。ゴミはちゃんと持ち帰ろうと思う。楽しかった。
- ・アスファルトより走りづらい。でも楽しかった。
- ・ブナとミズナラとシラカバ覚えた。

